



平成 26 年 4 月 11 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A N A P

代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 家 高 利 康

(コード : 3 1 8 9)

問 合 せ 先 執 行 役 員 財 務 経 理 部 長 名 和 俊 輔

T E L . 0 3 - 5 7 7 2 - 2 7 1 7

業績予想、配当予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 25 年 11 月 19 日に公表いたしました平成 26 年 8 月期（平成 25 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日）の業績予想及び配当予想を下記のとおり修正するとともに、役員報酬の減額を実施しますのでお知らせいたします。

1. 業績予想の修正について

(1) 修正の内容

当期の業績予想数値の修正（平成 25 年 9 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	百万円 9,488	百万円 406	百万円 368	百万円 176	円 銭 86.66
今回修正予想 (B)	9,266	0	10	△54	△26.47
増 減 額 (B - A)	△221	△406	△358	△230	—
増 減 率 (%)	△2.3	△100.0	△97.3	—	—
(参考) 前期実績 (平成 25 年 8 月期)	8,590	402	621	261	150.10

(注) 前回発表予想の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数(320,000 株)、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(70,500 株)を含めた予定期中平均発行株式数により算出した数値を表記しております。

(2)修正の理由

当社が属するレディースファッション業界におきましては、本格的な景気回復への期待感から一時的に消費回復傾向が見られるものの、当該内容は限定的であり、台風、大雪といった秋冬の天候不順、及び明確なファッショントレンド不在の市場環境を受けて、厳しい経営環境が続きました。その結果、セール販売に伴う売上総利益の減少に伴い、当社業績は前回の予想を下回る見込みとなりました。

売上高につきましては、度重なる台風、2月の記録的な大雪などの影響を受けて、前回予想を221百万円下回る9,266百万円となる見込みであります。

利益面につきましては、秋冬物のセール販売の増加により粗利率が低下しました。また、売上高の減少に加えて、物流業務の効率化を目的としたアウトソーシング費用の影響を受けて、販売費及び一般管理費が増加する結果、営業利益、経常利益はそれぞれ前回予想を406百万円、358百万円下回る見込みであります。

当期純利益につきましては、上記要因の他に、不採算店舗の減損損失を計上する見込みであることなどから、当期純損失54百万円となる見込みであります。

上記の見通しを踏まえて、当期における下半期は、経営体質の改善及び業績の回復に向けて、経費削減及びインターネット販売事業に注力する施策を実施してまいります。

2. 配当予想修正の理由

(1)修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成25年8月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

(2)修正の理由

当社は、現在成長過程にあり、経営基盤の長期安定に向けた財務体質の強化及び事業の継続的な拡大発展を目指しております。そのため、内部留保の充実が重要であると考え、会社設立以来、配当を実施しておりません。

このような方針のもと、平成26年8月期の配当を0円00銭としておりましたが、今後は株主利益の最大化を重要な経営目標としており、内部留保とのバランスを鑑みながら、配当

に対する考え方を再検討いたします。したがって、配当予想額につきましては未定に変更いたします。

3. 役員報酬の減額について

当社は平成26年8月期の業績予想の下方修正を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、以下のとおり取締役の役員報酬の減額を実施することといたします。

(1) 役員報酬減額の内容

常勤取締役 月額報酬の33%を減額

(2) 対象期間

平成26年4月～平成26年8月まで（5か月間）

(注) 上記に記載した予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上